

六甲アイランドに植栽されたタブノキを激しく食害するホシベニカミキリ

中安慎太郎・堀内湧也・牧田 習 (ユース昆虫研究室)・
吉村卓也 (ひとはく連携活動グループ テネラル)

1. はじめに

ホシベニカミキリは体長 18 ~ 26mm程で、赤色地に左右非対称の黒い斑点のある派手なカミキリムシである (図1)。南方系のカミキリムシで、関東以南に生息している。今回兵庫県神戸市東灘区の六甲アイランドにて、ホシベニカミキリが大量発生していることを発見し、採集した。本種は、よく街路樹に用いられているタブノキやクスノキを宿主としており、しばしば都市で大発生して、被害を与えることがあるらしい (OHGA et al., 1995)。そこで、六甲アイランドにどのくらいホシベニカミキリがいるか、また六甲アイランドに植栽されているタブノキがどの程度食害されているか調査することにした。

2. 調査地と方法

六甲アイランドは、1972年に着工された人工島で、イチョウ、クスノキ、ヤマモモ、タブノキなどいろんな木が植栽されている。

六甲アイランド内の中心部に位置するマンション「イーストコート7」周辺、居住地を囲む延長5kmの緑地帯「シティヒル」、神戸国際大学の周辺で、タブノキとホシベニカミキリを調査した (図2)。

2010年6月6日、中安、堀内、牧田の3人で歩いて調査地をまわり、タブノキを探した。タブノキが多かったのは、マンションイーストコート7周辺と、シティヒルの南側にある神戸国際大学周辺であった。タブノキを見つけ次第、その木にホシベニカミキリの成虫がいないか探した。

2010年12月10日、同11日、2011年1月22日には、中安が食害状況を確認した。ホシベニカミキリによる、タブノキの食害の程度は、次の基準により ABCD の4つのランクに分けた。Aランクとは枯れている枝がある木のことで、Bランクとは明らかにホシベニカミキリに食害されていることのわかる木のことで、Cランクとは食害をうけているもののホシベニカミキリと断定することのできない木とした。

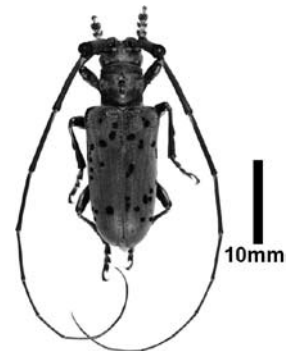


図1 ホシベニカミキリ

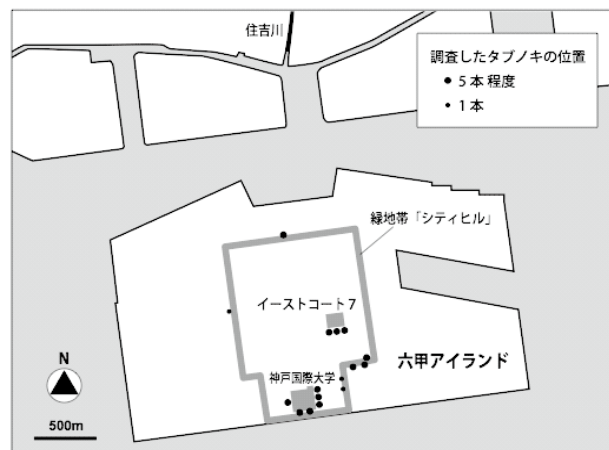


図2 ホシベニカミキリの調査地

3. 結果

2010年6月6日の一日で、ホシベニカミキリ 114個体が得られた。ホシベニカミキリはルッキング（目視による採集）でも得られたが、主に木を蹴ることによって落下してきた個体を採集した。特にマンション「イーストコート7」周辺において、多くの個体を採集した。

調査した71本の食害状況は、Aランクが30本、Bランクが26本、Cランクが14本、まったく被害のない木が1本であった。71本のタブノキ中AランクとBランクを合わせた56本、つまり約79%がホシベニカミキリに食害されていることが分かった（図4）。

4. 考察

2つの結果から六甲アイランドのタブノキは壊滅的な打撃をうけているのではないかと考えられた。そこで、とくに被害のひどかったマンション「イーストコート7」の植栽管理をしている田端さんという方に、被害状況などについて、インタビューした。

田端さんに「ホシベニカミキリが大量発生していますが、マンションに植えてあるタブノキは大丈夫ですか？」ときくと、「ぜんぜんたいしたことないよ」と笑っていた。また、マンションなので、住民がいるため、殺虫剤はまいていないこと、並木道の見栄えを重視するため、タブノキの枯れたところや、成長しすぎたところは伐っていることがわかった。

インタビューをしたところ、ホシベニカミキリの食害への対策としては、特になにもしていないことがわかったので、これからもどんどんホシベニカミキリは増え続けると思われる。また、今回調査しているときでさえ枯れているところのある木が目立っていたので、いずれ枯れてしまう木も出てくるとされる。



図3 タブノキの樹皮を食害するホシベニカミキリ

5. 今後の課題

来年（2011年夏）には、ホシベニカミキリの個体数、食害状況がどうなっているか、また、とりにあるポートアイランドではどうなっているかを調べてみたいと思った。

謝辞

人と自然の博物館主任研究員 八木 剛先生、ひとはく連携活動グループ「テネラル」のみなさん、ユース昆虫研究室のみなさんには、貴重なアドバイスをいただきました。ここにお礼申し上げます。

文献

OHGA,S., S. Nomura and S. Inoue, 1995. Survey of Basidiomycete and Insect Infested Roadside Trees. Bull. Kyushu Univ. For., 72: 203-216.

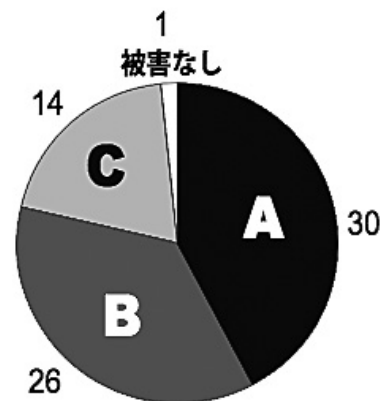


図4 ホシベニカミキリによるタブノキの食害状況

A：枯れている枝がある木、B：明らかにホシベニカミキリに食害されている木、C：食害をうけているもののホシベニカミキリと断定することのできない木。n=71。